

小郡市新体育館建設基本計画 改定版 【概要版】

令和5年3月

小 郡 市
小郡市教育委員会

小郡市教育委員会 スポーツ振興課
〒838-0115
福岡県小郡市大保427番地1(小郡市野球場内)
TEL:0942-75-2373 FAX:0942-75-2454

1. 計画改定の趣旨

本市では、基本コンセプト「スポーツを通じて市民の健康づくりと交流を支える体育館」を掲げ、新体育館の整備方針等の検討を行い、平成29年3月に小郡市新体育館建設基本計画(以下、「現行計画」という。)を策定しました。

その後、小郡市新総合体育館建設実施プラン検討委員会を設置し、現行計画についてさらに検討を重ねてきました。その結果、「市民が活動の主体となる新体育館の建設」を全体コンセプトとし、それに見合う施設規模に見直すことで整備コストを縮減していくことや、多目的な活用ができるように、防災機能を備えた施設として整備していくこと等の整備方針について協議を行ってまいりました。

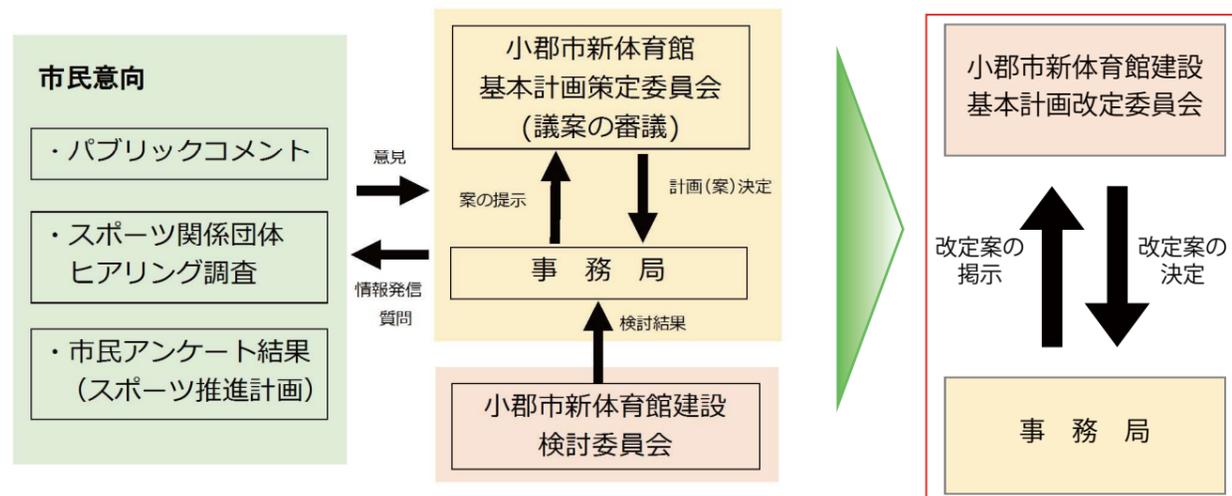
その後、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による社会情勢の変化への対応、近年、毎年のように水害を経験していることから、市民の安全を守る防災・減災対策への対応が必要とされ、新体育館に求められる機能も変化してきています。こうした社会情勢の変化や本市の現状を踏まえ、現行計画の改定を行いました。

2. 計画策定のながれ

現行計画は、市内のスポーツ競技関係団体、社会福祉関係団体、公募市民の代表、学識経験者、行政関係者により構成される「小郡市新体育館基本計画策定委員会」において、それぞれの立場からの意見を踏まえて検討し計画を策定しました。また、多くの競技や競技者ニーズに対応した施設とするため、競技団体などへのヒアリングを実施しました。

計画の改定にあたっては、「小郡市新体育館建設基本計画改定委員会」を設置し、新体育館整備に関する基本計画を改定しました。

| 日程 | 概容 |
|----------|------------------------------|
| 平成27年度 | ・小郡市新体育館建設検討委員会の設置 |
| 平成28年度 | ・小郡市新体育館基本計画策定委員会の設置 |
| 平成29年3月 | ・「小郡市新体育館建設基本計画」の策定 |
| 平成29年11月 | ・小郡市新総合体育館建設実施プラン検討委員会の設置 |
| 平成30年10月 | ・小郡市新総合体育館建設実施プラン検討委員会(中間報告) |
| 令和5年2月 | ・小郡市新体育館建設基本計画改定委員会の設置 |
| 令和5年3月 | ・「小郡市新体育館建設基本計画(改定版)」の策定 |



3. 建設地について

新体育館の建設地については、現行計画における建設候補地の検討にて、5つの候補地から検討することとしていました。

現行計画を改めて検証した結果、下記の主な特色を踏まえて「現地建替え」が最適と判断しました。

▼建設地の主な特色

- ・国道500号、県道88号線(通称:七夕通り)等主要な幹線道路の沿線に位置していること。
- ・西日本鉄道小郡駅、甘木鉄道大板井駅に近接しており、公共交通機関での来訪が可能なこと。特に甘木鉄道大板井駅に隣接しており、西日本旅客鉄道(JR)利用者の来訪が容易となること。
- ・既存インフラ※(上下水道)の活用が可能なこと。
- ・各種公的機関(市庁舎、消防署、警察署等)に近接しており、災害時の拠点として有効活用が可能なこと。
- ・生涯学習センターや文化会館等の文化拠点に近接しており、スポーツだけではなく、文化イベントの開催が可能なこと。



建設地周辺エリアには、市庁舎、生涯学習センター、文化会館等の公共施設が集積しており、市内外から多くの方々が訪れる地域となっています。

また、本敷地は、第一種住居地域に指定されており、大規模な施設(3,000㎡以上)の建設が制限されています。そのため、令和5年~7年度に予定している基本設計・実施設計に合わせて、新体育館の規模・仕様等に適した用途地域への変更に向けて福岡県や本市都市計画課等の関係機関との協議を進めていきます。

| | | |
|-----------|------------------|------------|
| 所在地 | 福岡県小郡市大板井279番地-1 | |
| 敷地面積 | 9,499㎡ | |
| 土地所有者 | 小郡市 | |
| 用途地域 | 第一種住居地域 | |
| 建ぺい率 | 60% | |
| 容積率 | 200% | |
| 防火地域・高度地区 | なし | |
| 高さ規制 | なし | |
| 斜線制限 | 道路斜線制限 | 1.25/1 |
| | 隣地斜線制限 | 20m+1.25/1 |
| 日影規制 | 日影時間5h-3h-4m | |
| 地区計画 | なし | |
| 建築協定 | なし | |

4. 基本コンセプト

「小郡市スポーツ推進基本計画で示されている基本理念」

くらしと密着したスポーツのまちおごおり

暮らしと密着したスポーツを通して健康の増進や人と人のつながりを創出し、市民全体が豊かな生活を送ることが可能なまちを将来像として、小郡市のスポーツを推進するものとしています。

その中で、以下の3つの基本方針が示されています。

- ◇ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーション機会の充実
- ◇スポーツを支え、生かす仕組みの充実
- ◇スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実

本基本計画は、基本方針の「スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実」における屋内スポーツ施設の再整備を行うための計画です。

「新体育館の基本コンセプト」

市民が活動の主体となる体育館

市民の健康増進や体力づくりができる

- ☞市民の健康増進、体力づくりやレクリエーション等を目的として小郡市の屋内スポーツの中心拠点を目指します。
- ☞いつでも、だれでも、気軽に利用できる施設を目指します。

日頃の練習成果を発揮する競技大会が開催できる

- ☞日頃の練習成果を発揮する場として、市内大会や周辺自治体と連携した大会を開催し、多くの方がスポーツによる交流の場として活用できるスポーツ施設を目指します。

スポーツだけでなくイベントなどを通じた交流ができる

- ☞スポーツ情報の発信拠点、競技者の交流拠点を目指します。
- ☞観光や地域のイベントができる交流の場としての利用も目指します。

使い勝手が良く、多くの方が多様な使い方ができる

- ☞利用者が多くの利用機会を得られるようにするため、少人数での利用も想定した諸室構成とします。
- ☞施設を利用する上で「使いたい、使いやすい」と思われる環境づくりを目指します。

災害時における防災拠点として利用できる

- ☞全国的に大規模災害自然が頻発していることを踏まえ、災害時の避難所など、多目的な防災機能が発揮できる拠点施設とします。

5. 5つの整備方針

整備方針1：日常のスポーツ活動を支援する施設づくり

小郡市の屋内スポーツの拠点として、日々の健康増進や生きがいづくりのための施設を目指します。レクリエーションスポーツやニュースポーツなどに対応した施設とし、市民が気軽に立ち寄り運動できる施設を目指します。
市民ニーズの高いトレーニングルーム、少人数でもヨガやエアロビクスなどができる空間づくりを目指します。

整備方針2：身近なスポーツ大会が開催できる施設づくり

日頃の練習の成果を発揮でき、市や地域の大会がスムーズに開催できるスペースを確保し、競技者、大会運営者ともに利用しやすい施設づくりを目指します。
ユニバーサルデザインの観点より、誰もが使いやすい施設づくりを目指します。その中で、障がい者スポーツにも配慮し、多様な使い方ができる拠点施設を目指します。
また、競技大会時のアップスペースとしてのサブアリーナや2F観覧席の外周部分にウォーキングコース等を設けます。

整備方針3：スポーツによる交流やイベントの拠点としての施設づくり

地域のスポーツ団体の拠点施設として利用できるように、会議や研修が行えるスペースの充実を目指します。
地域のスポーツ関連情報の発信拠点となるよう、サークル活動や地域のスポーツ大会等の情報がいち早く得られるようにし、スポーツを楽しむ市民が交流できる施設づくりを目指します。
また観光イベントや地域のイベントができる、様々な交流の場としても利用できる施設づくりも目指します。
特に、エントランスホールは、開館時に自由に使えるようにし、様々な目的をもった多様な人が集まり、スポーツやイベント等を通じた交流や仲間づくりができる施設を目指します。

整備方針4：競技者にも環境にも優しい施設づくり

建設及び管理運営の効率化を図るため、施設の複合化・集約化(体育館・武道場・弓道場)を目指します。
競技者の競技力向上や競技環境を整えるために、空調設備の導入を目指します。
その中で、エコの観点から、太陽光パネルによる自然エネルギーの活用等、自然環境に配慮した自然に優しい施設づくりを目指します。
施設を持続的に効率良く運営することを考慮すると、メンテナンスのしやすさへの配慮、ランニングコストの低減により施設のライフサイクルコストが最適化される施設づくりを目指します。

整備方針5：災害時における防災拠点としての施設づくり

全国的に大規模自然災害が頻発していることを踏まえ、多目的な防災機能が発揮できる拠点整備を目指します。
今後、自然災害が発生した場合に防災拠点施設として活用できるように、耐震構造と浸水想定水深に耐えうる構造による災害に強い施設整備を目指します。
また、大空間を有する特徴を活かした避難所や食料・支援物資の集積場所としての機能、市庁舎の被災に伴う代替災害対策本部としての機能、生活に必要な食料・飲料水や避難所運営に必要な資機材を備蓄する機能、広域からの応援組織の受入れ機能等を確保することで、災害時において市民の安全安心に寄与する施設づくりを目指します。
なお、一般の避難所に加え、体育館の一面や会議室等の別室を要配慮者用の避難スペースとして活用できる施設を目指します。

6. 導入施設イメージ・規模

整備方針を踏まえ、新体育館への導入施設・機能を以下のように設定します。
 なお、具体的な配置については、以下の案を参考に基本設計で検討を行います。

【弓道場・アーチェリー場】

日々の練習に必要な競技スペースを確保し、誰でも気軽に利用できる場所とします。

【メインアリーナ】

各種大会に対応できる競技スペースが確保されたものとし、小郡市の屋内体育施設の拠点としてふさわしい施設となるような規模とします。また、日常の練習で多くの市民が使える空間とします。

【多目的ホール】

日常の練習では使い勝手が良く、メインアリーナで大会がある時は市民利用の場として、大会時のアップ場・練習場、競技会場として利用できる空間とします。また地域利用の場として、地域イベントや講演などのスポーツ活動以外の様々な活動を通じて交流出来る空間とします。

【放送室・医務室】

アリーナに面する場所に設置し、運営室と連携して大会時に進行が円滑に進むような空間を検討します。

【トイレ・授乳室】

ユニバーサルデザインやバリアフリーの観点を取り入れ、どの利用者にも使いやすくアクセスしやすくします。

【武道場】

日々の練習に必要な競技スペースを確保し、武道に集中して打ち込める環境を確保した道場とします。

【会議室】

会議室、ミーティングルーム、大会運営室等、間仕切を動かし様々な用途に活用できる空間とし、利用者に使いやすい可変性のある空間とします。また、2階にも大会などの際に役員控室・来賓控室・審判控室として利用できるように確保します。

【事務室】

利用者動線と管理者動線を踏まえながら市民が有効に施設利用できるように配置を検討します。

【活動室3】

日々の練習に必要な競技スペースを確保し、誰でも気軽に利用できる場所とします。

【共有スペース(エントランス/情報発信スペース/休憩スペース)】

様々な目的で集まる利用者の集合場所、施設利用の合間や施設利用後の休憩場所としてくつろぎ、会話・交流ができるような空間を検討します。だれでも気兼ねなく競技やイベントなどの観覧・参加ができるように、小さな子どものためのスペースや、地域のスポーツ情報や各種イベントの活動内容などを閲覧できるコーナーを設け、スポーツや地域活動などへの関心、意欲を向上させる空間を検討します。

【観覧席・ウォーキングコース】

現状の施設にはない、競技を見る、応援するための観覧席を設置することで、競技を見てスポーツに関心を持ち、スポーツへのきっかけ作りができる空間とします。雨天時でも気兼ねなくウォーキングできる健康促進の空間とします。

【シャワー・更衣室】

誰もが利用しやすい空間を確保しながらスポーツ後、どの諸室からでも利用者がアクセスしやすい配置を検討します。

【器具庫】

アリーナに面する形で配置し、競技ごとに備品等を管理できる空間を設ける等、一般利用者・スポーツ団体が利用しやすくします。

【キッズコーナー】

親子連れで施設に来ても、保護者が安心して、小さい子供を遊ばせることのできる空間を検討します。

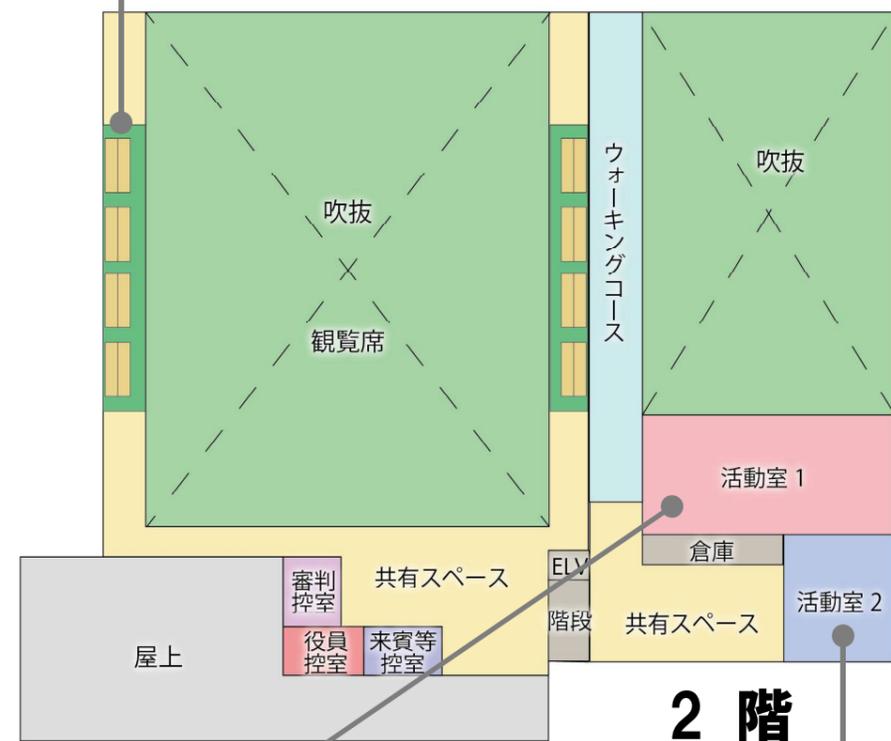
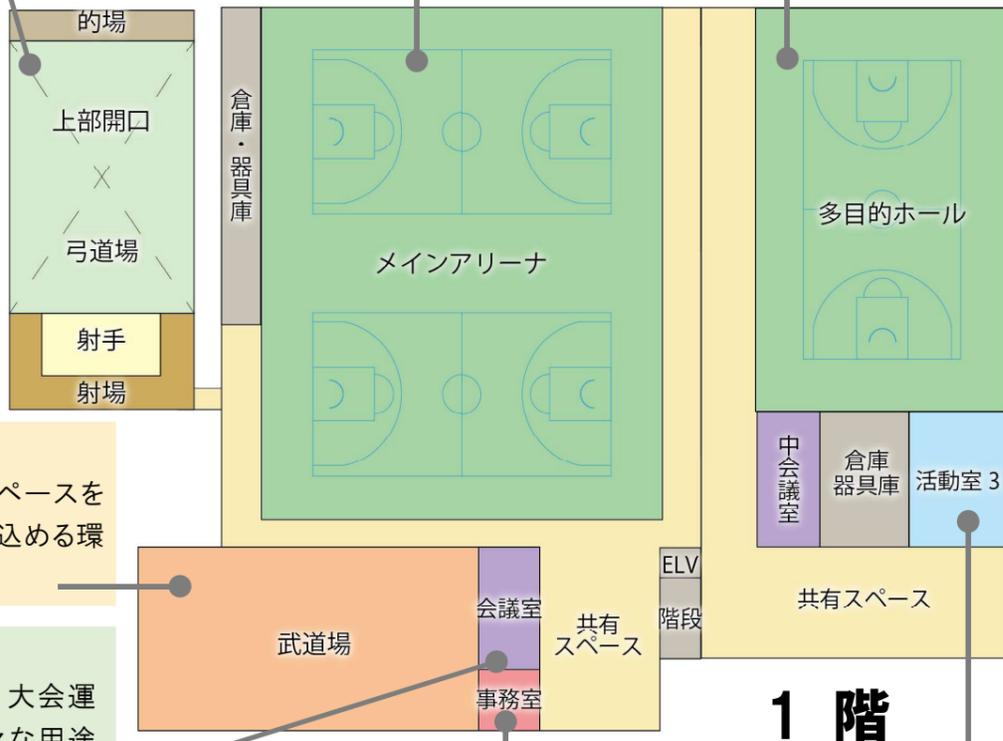
【活動室1】

健康増進のためのトレーニングなど、気軽に体を動かすことのできる空間とします。また、市民や各種団体による活動や交流、各種イベントなど、幅広い用途で使用できる空間とします。

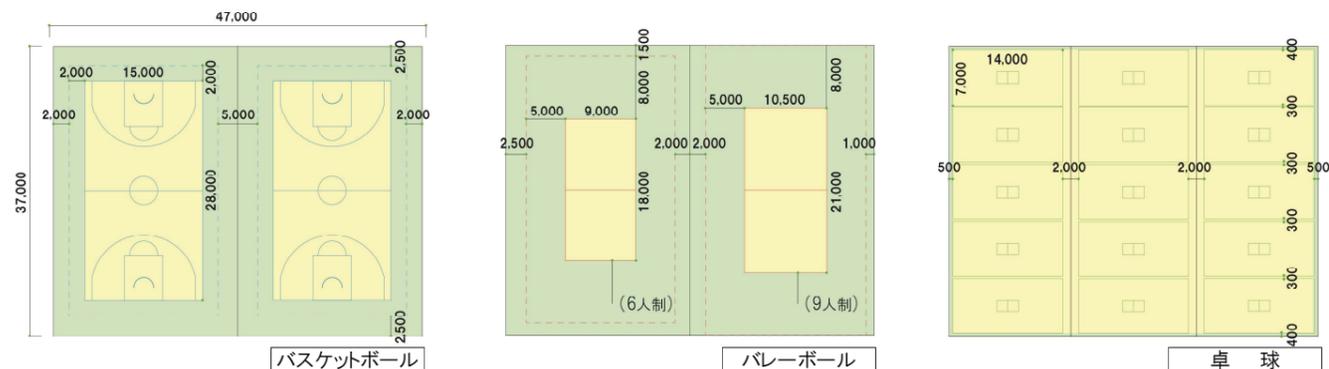
【活動室2】

ヨガ、フィットネス、ダンスなどが、気軽に少人数～大人数で行える場所とします。また、少人数の市民や各種団体による活動や交流、各種イベントなど、幅広い用途で使用できる空間とします。

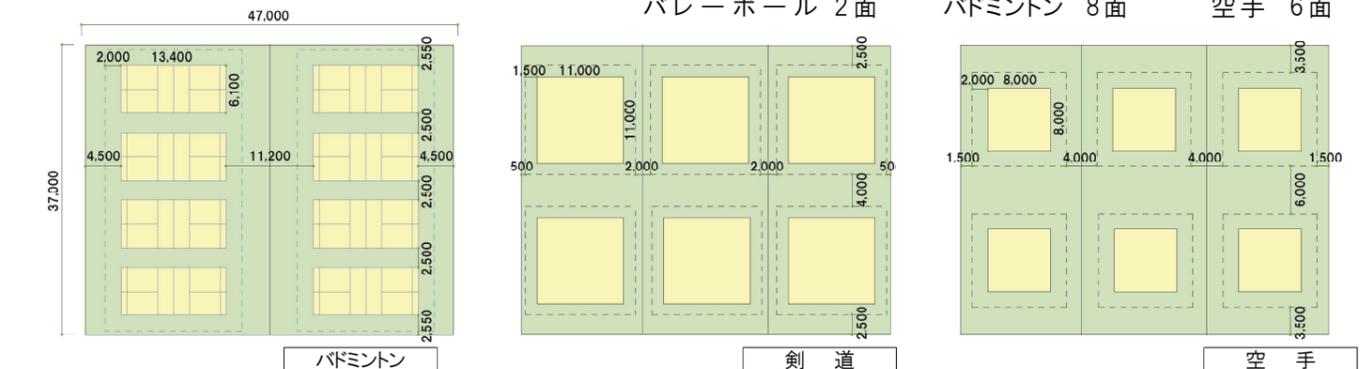
■延床面積: 6,420㎡程度
 ■建築面積
 ▽アリーナ棟: 3,250㎡程度
 ▽多目的棟: 1,625㎡程度



メインアリーナ 面積 = 47 × 37 = 1,739㎡



収容コート数



7. 防災機能について

地域防災計画において現体育館に求める防災機能の引継ぎと新たな防災拠点として必要な防災機能の設置について、以下の方向性で設置する設備・機能の具体化を検討していきます。

| 建物区分 | 機能 | 設置の方向性 |
|--------------|-------------------------------------------------------|--------|
| 全 体 | ライフライン機能(非常用発電機、貯留水活用等) | 必須 |
| | 情報通信機能(庁内ネットワーク、インターネット接続環境等) | 必須 |
| | 被災防止機能(耐震強化、浸水防止等) | 必須 |
| アリーナ棟 | 避難所機能(空調、シャワー、トイレ、簡易炊事所等) | 必須 |
| | 物資集積・集配機能(大型搬入・搬出口、物資移動機能等) | 検討 |
| | 遺体一時収容機能 | 他施設へ変更 |
| 多目的棟 | 避難所機能(空調、シャワー、トイレ、簡易炊事所等) | 必須 |
| | 備蓄機能(備蓄スペース、温・湿度管理機能等) | 検討 |
| | 代替災害対策本部機能(設置スペース、通信等) | 検討 |
| 駐車場 (外構部) | 関係機関展開場所、既存消防団機能維持、車上泊避難場所、屋外増設トイレ、屋外コンセント、屋外水栓、雨水貯留等 | 検討 |

8. 計 画 期 間

本事業は、令和10年度の竣工に向け、以下スケジュールで推進します。

▼新体育館建設に向けたスケジュール(案)

| | |
|----------|-----------------------------------------------|
| 令和4年度 | 基本計画の改定 |
| 令和5年～7年度 | 基本設計 (アリーナ棟・多目的棟) 実施設計 (アリーナ棟・多目的棟・旧体育館解体) |
| 令和7年度 | 解体工事 (現武道場、弓道場) |
| 令和8年～9年度 | 建設工事 (アリーナ棟) |
| 令和9年度 | 解体工事 (現体育館) |
| 令和10年度 | 建設工事 (多目的棟) |

▼その他関連スケジュール(案)

| | |
|----------|----------------------------------------|
| 令和6年度 | 用途地域変更協議 都市再生整備地区計画策定(都市構造再編集中支援事業) |
| 令和8年～9年度 | アリーナ棟建設に伴う現体育館使用制限※ |
| 令和9年度 | 新体育館利用開始 (アリーナ棟) |
| 令和11年度 | 新体育館利用開始 (多目的棟) |

9. 概算事業費・財源

新体育館の建設にかかる概算事業費については、現行計画時に工事単価を400,000円/㎡(税込)と想定し算出しておりましたが、近年の社会情勢の変化に伴う資材費、人件費の大幅な高騰により、事業費の再検討が必要となりました。

今回の改定では、直近の他自治体類似施設の事業費や昨今の資材費、人件費の高騰などを踏まえて工事単価を530,000円/㎡と想定し、現在想定している面積、機能等から算出しました。以下の表が、概算事業費の内訳です。

詳細な建設事業費については、市場価格(資材費や人件費等)の動向や今後の財政状況等を踏まえ、基本設計・実施設計の中で具体的な検討を行うものとします。

なお、建設にあたっては、建設費や維持管理費についても十分考慮し、低コストで高品質な施設整備を目指します。

| 項目 | 規格 | 規模 | 概算事業費(万円) |
|----------|------------------|---------------------|-----------|
| 用地費 | - | 1.3ha | - |
| 既存建物の解体費 | 旧体育館、武道場、弓道場 | 4,000㎡程度 | 20,000 |
| 建築費 | アリーナ棟 | 延床面積(建築面積 3,250㎡程度) | 211,894 |
| | 多目的棟 | 延床面積(建築面積 1,625㎡程度) | 128,525 |
| 什器備品 | トレーニング器具 | - | 5,000 |
| | スポーツ器具、ロッカー、机備品等 | - | 10,000 |
| 外構費 | 外部植栽、フェンス等 | - | 3,300 |
| 駐車場舗装 | 160台確保 | 4,000㎡ | 7,000 |
| 建築設計費 | 基本、実施設計、工事監理 | - | 20,000 |
| 外構、駐車場設計 | | | 800 |
| 合計 | | | 406,519 |

建設事業費にかかる財源は、地方自治体の公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の集約化・複合化、長寿命化、転用などといった事業に活用ができる「公共施設等適正管理推進事業債(総務省)」と、地方自治体の立地適正化計画に基づく、居住環境の向上に資する事業に対し集中的な支援を行う「都市構造再編集中支援事業(国土交通省)」の活用を検討します。

また、他省庁の防災や省エネ関係等の国庫補助金や地方債など、スポーツ施設に活用できる財源についても検討をしていきます。

